

# そよかぜ

佐久市社会教育委員だより 第11号  
2024(令和6)年4月 発行

「そよかぜ」…このタイトルのように佐久市に 社会教育の風を吹かせ、  
生涯にわたって学び続け、互いに支え合い、高め合う市民を目指していきましょう！

## ★みんなの『居場所』について考える★

〔社会教育委員会議 活動テーマ〕

佐久市には、各分野の知見を有する方から委嘱された12名の社会教育委員がいます。それぞれの委員は、日ごろは各々の分野において社会教育に関する活動をしています。

また、一昨年からは委員全員の集まりである佐久市社会教育委員会議において「みんなの『居場所』について考える」を共通の活動テーマとし、「コミュニティスクールグループ」「子育て支援グループ」に分かれ活動してきました。そのグループ活動もだんだんとまとめに入ってきましたので、現在お知らせできることを報告します。

### ■コミュニティスクールって知っていますか？

(コミュニティスクールグループ 中澤功委員)

今、佐久市すべての公立小中学校にコミュニティスクール運営委員会等が設置されています。  
コミュニティスクールでは、

- ★登下校の見守り活動
- ★本の読み聞かせ活動
- ★授業での書写指導
- ★学校の授業などへの援助
- ★総合的な学習への取り組み
- ★ふるさと体験学習
- ★農業体験学習
- ★マラソン大会の見守り
- ★自主学習会(おやじの会・学習ボランティア)
- ★フルーツ演奏会
- ★高校生や大学生との語らい
- ★環境整備活動
- ★リズムダンス・防災訓練
- ★あこがれプロジェクト
- ★鯉の飼育・和太鼓演奏
- ★ホタルの復活に向けて
- ★キャリア教育現場実習
- ★まちゼミでキャリア教育
- ★放課後学習
- ★部活動の地域移行に向けて
- ★学校の課題を地域と共に解決
- ★学校花壇の世話

などなど……地域と学校が連携したたくさんの活動を、それぞれの学校でコーディネーターが中心となり実施しています。これらの活動の中で、

- ◎登下校を見守っている人と信号待ちをしながら談笑する姿
- ◎花壇の水くれをしているボランティアの方と何やら話し込んでいる姿
- ◎「来週はこわい話を読んでもください」とせがむ姿
- ◎毛筆書道の指導を受けて、「ありがとうございました」といつになく元気な声を出す姿
- ◎部活動を地域の人から教わって、「はい」と元気よく、目を輝かせている姿
- ◎受験前の生徒が、わからない問題の解き方を放課後学習で教えてもらって「ありがとうございました」と頭を下げる姿



すると、どうでしょうか。いつの間にか会話がうまれ、知り合いになり、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」……しまいには、「ただいま」「おかえり」にまで発展し、お互いが元気に明るくなります。子どもたちとのたくさんの交流が生まれていきます。こんな地域で育った子どもは自信をもって成長していきます。かかわった大人は子どもから元気をもらい、長生きにつながります。とにかく、みんな仲良しになります。こんな中なら、災害や事件があっても必ず手を取り合って乗り越えていけると確信します。

でも、コミュニティスクール、まだまだ地域の方々に知られていません。また、コーディネーターさんには活動の悩みや困りごともあります。なので、コミュニティスクールグループでは各校のコーディネーターさん

ネーターさんの交流会議を年2回開催し、情報交換をする場として活用してもらっています。そして、「コミュニティスクールだより」（仮称）を発行してよりよく知っていただけるよう準備をしているところです。コミュニティスクールみんなで推進していきましょう。

## ■子育てに関して支援を必要としている人へ、必要な情報を届けたい！

（子育て支援グループ 大井邦子委員）

困ったときに藁をもすがる思いで問い合わせたら…たらい回しに窓口を紹介されて疲弊してしまった…そんな経験はありませんか？

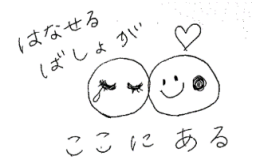
情報が溢れる昨今、本当に必要な方に必要な情報は届いているのだろうか？そんな居場所への疑問から、子育てに関わる委員が集まったのが「子育て支援」ワーキンググループです。

学校教育までの最も成長する時期に色々な課題や悩みに直面すると、就学後にも影響する大切な時期ですが、社会の様々なコミュニティと繋がれる場合と、情報を知らないために孤立してしまう場合で明暗が分かれてしまうことがあるのではないかと思います。

いろいろと調べていく中で、「コスモス相談」「不登校等対策 連携支援マップ」「たてよこ MAP ～その時・つなぐ時～ 佐久市バージョン」「佐久市いいところマップ」等々、これらは佐久市の子育て情報としていずれも既に提供されているものなのですが、こんな情報もあったんだね～、と知らないこと、知られていないことがたくさんありました。情報は生き物です。「必要な時に・必要な情報を・必要な方に」届けるにはどうしたらいいんだろう？と試行錯誤した令和5年度でした。実際に健康づくり推進課の作成した「緑のカード」等を参考に、情報カードを試作してみたりもしました。

昨年度末の教育委員と社会教育委員の意見交換会では、

- ・「コスモス相談」という名称について、もっと何を相談できるところか分かりやすい名称がよいのでは？
  - ・色々な課題はあるけれど「まずはここに」連絡すれば適切などころにつないでもらえるワンストップ型の窓口はあるのだろうか、あるとすればどこになるのだろうか？
  - ・情報を届ける対象は子どもなのか、大人（保護者）なのか？
  - ・情報カードについて、学校や公共施設だけでなくコンビニなどにも広く配架することで情報に触れる機会を増やせるのでは？
  - ・情報を取りにいくだけではなく、プッシュ型で届けることもできないだろうか？
- など、様々な視点から意見交換ができました。



学校と家庭をつなぐ役割としても、人生100年時代を生きていくための社会教育の必要性は高まる時代になっていく予感がしました。今後とも学校教育との連携を密にしながら、佐久市での社会教育に微力ながら貢献できればと思います。

■ 編集後記 皆さんはじめまして。佐久市教育委員会 生涯学習課の保科です。社会教育委員では現在「居場所」をテーマに活動しております。会議では毎回積極的に議論が交わされ、「自分も小さいときはこんな風に、地域の人たちに見守られ大事に思われ育ってきたのだろうなあ」と実感すると同時に、大人になった今では、今度は自分が地域の一員として社会教育に貢献できればと思っています。これからよろしくお願いします！

【発行】佐久市社会教育委員

【事務局】〒385-8501 佐久市中込3056 佐久市役所南棟3階 佐久市教育委員会 社会教育部 生涯学習課  
0267-62-0671 FAX 0267-64-6132 e-mail syogaigakusyu@city.saku.nagano.jp